

言語技術の効果的な活用・言語技術の充実を図った
美術科の授業実践例

熊野町立熊野中学校

- 1 学年・題材名 第2学年 水墨の世界（絵画）
- 2 本時の目標 ぼかしやかすれなど，筆・墨の特徴をもとに水墨画の構想を練ることができる。
- 3 本時の工夫点 導入において，「情報を的確に分析する技術」を活用し，じっくりと参考作品を見て，その作品のどこに面白みを感じたか，表現の多様性や奥深さを見ることができたか等を言葉を使って表現させる。そのことにより，作品に対する理解や意味付けを自分の中で納得させることができ，それが自己の表現を深めることに繋がっていくものとする。
- 4 学習の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準
1 水墨画の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの習作，資料集その他の水墨画を鑑賞させる。 	
2 どのような表現方法を使っているか発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が気に入った作品についてどこが，何故気になるのか理由を考えさせる。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>情報を的確に分析する技術 結論をはじめに提示し，理由の説明をさせる。</p> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「かすれ」や「にじみ」「ぼかし」などは，どのように水の量や墨の量を調整して表現したらよいだろうか？</p> </div>		
<ol style="list-style-type: none"> 3 筆と墨になれるためワークシートに従い，自由に表現を試みる。 4 自分が表現してみたいテーマ（身近な動物や植物）を考えどのような表現を使えば効果的か考えながら描いてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行い，適宜助言をする。 筆の運び方（線・面で描く） ぼかしなど特殊な方法 墨と水の量 片隈の技法 <div data-bbox="957 1108 1189 1377" style="text-align: center;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼかしやかすれ等墨の特徴をもとに水墨画の構想を練る。（行動観察）
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が試した技法や墨のよさを生かして水墨画を描く。 <div data-bbox="151 1478 518 1825" style="text-align: center;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・努力を要する状況の生徒へは，まず輪郭線を描き，それから中をぼかしながら塗りつぶす方法で描くよう指導する。 ・筆のタッチの特長を生かし，一筆で表現できる部分がないか考えさせ表現させる。 ・主題が決定した後は，筆と墨という材料と道具の制約から単純化や省略，デフォルメ等が使えることを考えさせる。 ・机間指導を行い，よい表現を取り上げ，みんなに紹介し，様々な表現の面白さに気付かせる。 	
5 後かたづけ	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかに後かたづけが出来るよう時間設定を行う。 	
6 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆたかな表現ができた作品を黒板に貼り，よさを評価する。何枚か描いていく中で，自分の気に入った作品ができあがることを理解させる。 	